



設備投資とノウハウ活用でニーズに対応(本社)

アーモンド選別に新装置

来年2月 不良豆除去を効率化

富士倉庫

富士倉庫(坂口雅彦社長、横浜市中区)は、輸入アーモンドからアフラトキシン(発がん性カビ毒)に侵された不良豆を取り除く「Qソーター」を横浜港の

は、横浜港本牧ふ頭D突堤(同区)の保税地区内にあり、4階、年内にも工事を開始する。米国から輸入されるアーモンドは、菓子を中心に幅広い用途があるため、ナッツ類の中でも輸用量が圧倒的に多い。ただ、米国からの出荷時には不良豆や異物が混ざっていることが多く、品質に厳しい日本の高級チョコレート・洋菓子メーカーに納品するには高精度の選別作業が必要だ。

同社では、19年から同じ倉庫の1階で落花生の選別作業を行っており、落花生用Qソーターは既に導入している。落花生の選別の実績が高い評価を受けており、アーモンドに関わる商社やナッツ類の業界団体からの強い要請もあり、今回

に保ち、壁・床面に防塵加工を施すほか、エアシャワーを設置し、虫が寄り付きづらいLED(発光ダイオード)照明を採用するなど、食品工場並みの高い衛生環境を整える。選別にはQソーターに加えてX線検査機(金属探知機も使用)、品質管理を徹底する。また、同倉庫は保税地域内で選別作業を行えるのも大きな特徴。これまでは、輸入されたアーモンドが異物混入などで日本の品質基準を満たさず、産地へ返品されることも少なくなかった。同社の倉庫では保税状態で高精度の選別を行い日本の厳しい衛生基準を満たすため、返品が減るメリットがある。

同社では、19年から同じ倉庫の1階で落花生の選別作業を行っており、落花生用Qソーターは既に導入している。落花生の選別の実績が高い評価を受けており、アーモンドに関わる商社やナッツ類の業界団体からの強い要請もあり、今回

地方にあるナッツ・豆類の選別工場では人手不足の深刻化でスタッフを確保しにくくなっており、選別作業を今後どう維持するかは大きな課題だ。こうした状況を受け、富士倉庫では今後も選別の需要は増えることを見据え、設備投資に踏み切った。

坂口社長は「新しいことにチャレンジするのが一大方針。設備投資とこれまで蓄積してきたノウハウ、熟練の人材を活用してニーズに応えたい」と語っている。(吉田英行)